毎日新聞　2014年（平成26年）3月28日（金）

広島・被爆語り部 沼田さんモデル

「アオギリにたくして」上映

30日阿南、5月に徳島で

平和記念公園（広島市）の被爆アオギリの下で自らの被爆体験を語り続けた沼田鈴子さん（2011年に87歳で死去）をモデルにした映画「アオギリにたくして」（13年）の上映会が、30日に阿南市で、5月24、25両日に徳島市で、それぞれ開かれる。20代の時に沼田さんと出会って感銘を受けたシンガーソングライターの中村里美さん（50）＝東京都＝が、遺志を継ごうと製作した。中村さんは「沼田さんの生き様を通して、何か大切なメッセージを受け取ってもらえればうれしい」と話している。

沼田さんは22歳の時に爆心地近くで被爆し、左足を失った。婚約者も戦死して絶望の淵に立たされていた時、熱線で黒焦げになったアオギリの木が新芽を付けていることに心を動かされ、生きる勇気を得たという。

その後、80年代から語り部活動を始め、平和記念公園などで修学旅行生たちに平和への願いを語り続けた。

映画の一場面。周囲から結婚を反対された恋人（右）と原爆ドーム前に立つ主人公＝ミューズの里提供

映画は、28年前に沼田さんから被爆体験を直接聞いて以来、さまざまな平和活動を通じて沼田さんと交流を続けた中村さんが、沼田さんの死後、彼女の想いをもっと多くの人に伝えたいと企画。映画作りは初めてだったが、「亡くなる1カ月前に沼田さんが言った『死ぬのは簡単だけど、生きて伝えなければ』という言葉が、ずっと心に残っていた。彼女の想いを掘り下げて表現するには映画が一番いいと思った」。

出演は原日出子さんや風見しんごさんら。主人公の妹役で女優デビューを果たした阿南市出身のはらまいこさん（26）は「誰もが共感できるヒューマンドラマ。家族愛あふれるシーンを見てほしい」と話している。

30日は阿南市文化会館（夢ホール）で、10時半▽14時▽18時に上映。各上映前には中村さんのほか、中村柊斗監督やはらさんらが舞台あいさつする。5月24、25両日は徳島市ふれあい健康館で、10時▽12時15分▽14時半。いずれも一般1300円。問い合わせは阿南が上映実行委員会（0990・9773・1045）、徳島が徳島映画センター（088・631・5847）。【阿部弘賢】